

○提出された御意見の概要と御意見に対する県の考え方

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
1	<p>基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」                      (1)若者の経済的安定</p>	<p>28頁「若者の経済的支援」こども家庭庁の戦略では「奨学金施策」が位置づけられています。大学・大学院合わせると600万円以上の「借金返済」が必要となります。県として「給付奨学金」制度の創設、利子補給制度の創設を検討してほしい。</p>	<p>国は、経済的に困難な学生を支援するため、従来からの貸与型奨学金に加え、2017年度から給付型奨学金を開始し、2020年度には「大学等における修学の支援に関する法律」を定め、給付型奨学金の制度の拡充を図るとともに、授業料及び入学金の減免制度も開始しました。                      さらに、2024年度からは、扶養する子どもが3人以上の多子世帯と私立の理学・工学・農学系の学生を対象に、世帯年収が概ね600万円の世帯まで支援が拡充される方向で調整が行われております。                      本県としましては、国が実施する授業料等の減免や給付型奨学金事業等の更なる支援対象の拡大、給付額の引上げなど、制度の拡充を図るよう引き続き要望していきたいと考えます。                      日本学生支援機構が行っている大学生等への奨学金制度と異なり、愛知県高等学校等奨学金貸付金はすべて無利息での貸し付けを行っており、進学や所得に応じた返還猶予の制度を用意しています。また、奨学金(貸付)とは別に、低所得世帯に対して、返済不要の奨学金給付金の支給を行っていますので、今後も現行制度により引き続き支援を行ってまいります。</p>
2	<p>基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」                      (2)結婚・出産・子育て支援</p>	<p>29頁「結婚」の前に「科学的性教育」の実施が必要と考えます。思春期保健の課題として、学校への保健師・助産師などの派遣による性教育事業が位置付けられています。保健所体制の強化と合わせて推進してほしい。</p>	<p>(2)②「妊娠・出産支援」の「若い世代への知識の普及啓発や健康教育の推進」において、専門職による性教育を含めた健康教育を、県や市町村が学校と連携して取り組んでいるところです。                      学校における性に関する指導は、学習指導要領に基づき、体育科、保健体育科や特別活動等により、発達段階を踏まえて進めており、必要に応じて産婦人科医や助産師等の外部講師の活用を行っておりますが、今後、指導を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
3	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)③周産期医療	30頁「周産期医療体制の充実」と合わせて障害児、医ケア児支援も付記をしてほしい。	障害児、医療的ケア児支援においては、入院している医療機関から在宅生活への円滑な移行が重要であるため、御意見を参考とさせていただきます。
4	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)④地域における	30頁「子育て支援」;市町村に設置予定の「こども家庭センター」への専門職配置支援を位置付けてほしい。	今後、こども家庭センターの職員配置要件や財政支援等が国から示されることとなっていますので、それも踏まえて、市町村への必要な支援を行ってまいります。
5	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)⑤子どもの貧困対策・ヤングケアラーの支援	30頁「子どもの貧困対策」に「給食費の無償化」を位置付けてほしい。	<p>本県におきましては、家庭の経済状況が厳しい児童生徒の学校給食費について、生活保護による教育扶助や就学援助を通じて支援を実施するとともに、今般の物価高騰を受ける保護者に対し、地方創生臨時交付金を活用した給食費への補助を実施してきました。(※現在は終了)</p> <p>一般的に、学校給食費の無償化については、児童生徒間の公平性の観点から、学校給食を実施していない自治体の実態、学校の実情や、また学校給食の提供を受けていない児童生徒の状況、実施内容による学校給食費の差異等の実態について把握するとともに、学校給食費の負担の在り方の観点から、現在、設置者により実施されている保護者負担軽減に関する取組の詳細等を把握し、課題を整理する必要があります。</p> <p>こうした中、国においては、2023年6月に閣議決定された「こども未来戦略方針」に基づき、全国ベースでの学校給食の実態調査を行っており、今後、当該調査の結果を公表するとともに、法制面等も含めた具体的な方策を検討することとされています。</p> <p>このように、学校給食の無償化については、今後の国の動向を注視していく必要があります。</p> <p>御意見については、今後の施策を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>
6	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)⑥保育サービスの充実	31頁「保育サービスの充実」に向けて、保育士配置基準改善のための県の補助制度を設置してほしい。	<p>保育士の配置基準の改善については、全国的な課題であり、国において対応すべきと考えております。</p> <p>このため、本県の単独補助事業については、事業の効果、国や他制度との整合性を図りながら、検討を行う必要があると考えており、今後の国の動向を注視してまいりたいと考えております。</p>

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
7	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)⑦放課後児童対策の充実	31頁、長期休暇時の放課後児童クラブに対する給食費の補助制度を設置してほしい。	放課後児童クラブの運営につきましては、各市町村が事業の実施主体として、適宜「放課後児童クラブ運営指針」(以下「運営指針」という。)及び「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(以下「基準」という。)を参照の上、運営しております。長期休業時の放課後児童クラブの給食費の補助制度につきましては、指針及び基準において、小学校等の長期休業期間中等に事業所として昼食等の食事提供をすることの規定がないことから、設置する予定はございません。
8	基本目標①「結婚・出産・子育て環境づくり」 (2)⑧子育て世帯の経済的負担の軽減	31頁、子育て支援に、多様なニーズへの対応として「医ケア児・障害児支援」と「障害を有する保護者の支援」「ファミリーシップの推進」を追加してほしい。	「ファミリーシップ制度」については、現在、2023年度末に策定予定の「人権施策に関する基本計画」において盛り込めるよう、制度のあり方等について、愛知県人権推進審議会等の意見を伺いながら検討中であるため、今後の審議の経過を踏まえて、追加について検討してまいりたいと考えております。 医療的ケア児を含む障害児に対しては、国制度である障害児福祉手当に本県独自で手当を上乗せしております。また、障害者に対しては、本県独自に国制度である特別障害者手当等に上乗せするほか、特別障害者手当等の対象とならない重度の障害者に対して愛知県在宅重度障害者手当を支給しております。 これらの手当については、在宅の重度障害児・重度障害者の福祉の増進を図るための施策であることから、追記しないこととします。
9	基本目標⑤「暮らしの安心を支える環境づくり」	65頁「基本的方向」に、若者や高齢者、障害者、貧困家庭のための「安価な住宅の確保」を追加してほしい。	御意見の「安価な住宅の確保」の一つとして、県営住宅においてはPFI手法を活用した住宅の建替・供給を積極的に進めることとしており、基本目標6⑩「公共施設等の適切な維持・管理等」に包含させていただいております。

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
10	<p>基本目標⑤「暮らしの安心を支える環境づくり」  (1)③地域包括ケアシステムの構築及び更なる深化・推進</p>	<p>66頁「地域包括システム」の項に、障害者・高齢者分野で働く働き手の待遇改善と確保について追記してほしい。</p>	<p>「③地域包括ケアシステムの構築及び更なる深化・推進」の項目については、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に提供する地域包括ケアシステムの全体(各分野の連携など広い枠組みで捉えたもの)について記載しているところであり、地域包括ケアシステムのうち「介護」の働き手のみに特化した記載をすることは、本項目になじまないと考えております。</p> <p>なお、障害福祉分野で働く働き手の待遇改善・確保の重要性については、認識しているところであり、引き続き、「あいち障害者福祉プラン2021-2026」に位置づけ、各種取組を進めてまいります。</p> <p>介護分野で働く働き手の待遇改善・確保の重要性については、認識しているところであり、引き続き、愛知県高齢者福祉保健医療計画に位置づけ、各種取組を進めてまいります。</p> <p>また、「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」の基本目標の一つである「しごとづくり」に、人手が不足している中小企業の人材確保に向けた取組について記載させていただいております。</p> <p>なお、御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>基本目標⑤「暮らしの安心を支える環境づくり」  (5)安心して暮らせる地域社会の実現</p>	<p>71頁「安心して暮らせる地域社会」に、「交通安全」の項も設けてください。車優先ともいわれる愛知県の場合、県民の意識向上だけでなく、78頁にある「バス路線など公共交通の確保・維持」だけでは不十分かと思えます。二酸化炭素削減のためにも、電車路線の在り方を各社と県で協議することも必要だと考える。</p>	<p>愛知県では、「交通安全」について、交通安全対策基本法第25条第1項に基づく都道府県交通安全計画として、1971年に第1次愛知県交通安全計画を策定し、以降5年ごとに計画を見直し、関係機関と連携の上、各般の施策を進めていることから、今後も同計画に基づいて進めさせていただきます。</p> <p>御意見については、今後の施策を進めていく上で、参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
12	知多地域	<p>140頁では「知多半島の観光圏としての魅力の創造・発信」とありますが、空港線以外の名鉄路線は本数削減や駅の無人化が進んでいます。ということは「車で来て」ということでしょうか。名鉄と県及び関係市町村との協議が必要だと考えます。特に乗換駅では高齢者や子ども、障害者の安全の確保が大事です。初めて訪れた観光客の方が「二度と訪れたくない」と思わないようにしてほしい。</p>	<p>「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」では、「観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成」として、陸海空の優れた交通条件を有する本県の特性を生かすため、駅や空港等のアクセス拠点からのバス、タクシー等の二次交通の利便性向上を図るとともに、観光周遊コースの整備を促進するなど、県内全域へ観光客が訪れる流れの形成を図ることについて、記載させていただいております。</p> <p>いただいた御意見については、知多半島5市5町と情報共有させていただきます。</p> <p>また、鉄道事業者においては、国が定めた「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」に基づき取組を進めていると聞いており、県としても、鉄道事業者に対し、駅利用者の安全性・利便性の確保を要請してまいります。</p>
13	尾張北東部地域	<p>江南市の含まれる尾張北東部地域をみると、小牧や犬山、ジブリパークの記載ばかりになっており、市町村別では偏っているように見える。</p>	<p>各地域における課題及び今後の方向性、具体的な施策に関しては、主要なものについてのみ掲載しているものとなります。</p> <p>県としましては、各地域が活力を維持し、誰もが安心・快適に暮らせるまちづくりを進めることができるよう、引き続き各市町村と連携・協働して、各地域の特徴に応じた取組を進めてまいりたいと考えております。</p>

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
14	尾張北東部地域	<p>一宮や小牧ばかり集中的に道路等の整備を行って、交通量が増加集中して渋滞と事故を巻き起こし、渋滞緩和工事といいさらにお金をつぎ込み、また小牧や一宮に企業が進出してまた渋滞が発生する。</p> <p>江南市曾本地区にICを設置したり、今話題になっている2024年物流問題といわれているが、高速道路による自動運転、浜松になるコネクティブ浜松みたいな荷物の積み替え、一宮や小牧など渋滞スポットに入る前に折り返せるような新しい試みの拠点を江南市に整備するなど、地方創生というのであれば、平等な整備、もっといままで整備されて来なかった市町村に集中的に整備をしてほしい。</p> <p>また、小牧関連絡道路ではなく曾本地区から関市まで江南関連絡道路という形で結んでもっと利便性を上げることによってより地域が活性化するようにしてほしい。</p> <p>なぜ、小牧や一宮は企業団地など整備して誘致しなくても企業が進出するのに、江南市などは市が動いてもなかなか企業誘致に苦戦する。</p> <p>明らかに、愛知県が偏った整備をしている結果でしかないと思う。同じように税金を払っているのに、なぜ愛知県が市町村を選択して一部の都市ばかり集中して整備するのか。</p> <p>これが違うというのであれば、長久手市に万博整備・高速整備・鉄道整備・愛・地球博記念公園整備・ジブリパーク整備あわせてどれだけのお金を使っているのか。それに対して江南市にどれだけのお金を使って整備しているのか数値として出してほしい。</p> <p>集中して整備するのではなく、各市町村が平等に整備するようにしてほしい。</p>	<p>本県のインフラ整備については、2020年12月にとりまとめた「あいち社会資本整備方針2025」に基づき、道路整備を着実に進めております。</p> <p>工業用地の開発については、市町村から要請を受けて行っております。開発の意向のある市町村と意見交換などを行い、開発が進むよう助言しております。</p> <p>御意見については、庁内で共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
15	その他	<p>愛知県にディズニーランドを超えるテーマパークを誘致してほしい。木曾岬干拓地とか知多半島などに。</p>	<p>「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」では、産業観光や武将観光、食文化、芸術、伝統文化など本県独自の魅力に加え、新たな魅力の創造・発信などにより、国内外から人を引き付ける魅力ある地域づくりについて、記載させていただいております。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
16	その他	<p>愛知環状鉄道分岐ルートを建設してほしい。中部国際空港と、愛知環状鉄道三河上郷駅をつなぐ形で。</p>	<p>今後の施策を進めていく上で、参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
17	その他	愛知県に宿泊する外国人観光客のために愛知県にいながら世界中のテレビ局の番組が観られるようにしてほしい。これによって日本人観光客も増えるでしょう。	いただいた御意見は、今後の施策を進めていく上での参考といたします。
18	その他	耕作放棄地を外食企業、食品加工業、食品スーパーなどに農地として貸し出すべきです。	令和5年4月1日に改正された農業経営基盤強化促進法に基づき、各市町村は10年後の農地1筆ごとに誰が耕作するかを、農業者や地域農業の担い手を始め幅広い関係者による協議の場を通じて定める「目標地図」を含む「地域計画」を策定することになりました。 この協議の場には外食企業等も参加することが可能であり、外食企業等が耕作者として目標地図に位置付けられれば、農地中間管理機構を介して、賃貸借権を設定することができます。 御意見については、今後の施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
19	その他	愛知環状鉄道駅周辺の農地を宅地化してコンパクトシティを目指し、高学歴外国人向け住宅地としてほしい。	「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」では、基本目標6(3)①集約型まちづくりの推進において「都市部では、主要駅周辺の中心市街地や生活拠点となる地区などに業務・商業、医療・福祉等の都市機能を集積するとともに、快適な歩行空間の整備を進めるなど、都市の再構築を進めていく」としています。
20	その他	名古屋証券取引所を24時間年中無休にして外国からの投資資金を集めるべきです。	いただいたご意見を参考に、今後も引き続き、海外からの直接投資促進を図ってまいります。
21	その他	人体のサイボーグ化を研究し、サイボーグに必要な部品の工場をつくりましょう。障害者が助かります。	御意見としてお伺いしました。
22	その他	愛知県の海水浴場を一部ヌーディストビーチにするべきです。観光客を増やすために。	「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」では、地域ブランドの構築と愛知ならではの観光資源の発掘・磨き上げについて、記載させていただいております。
23	その他	愛知環状鉄道の証券取引所への上場と、株式売却による住民サービスをしてください。	今後の施策を進めていく上で、参考にさせていただきます。

No.	項目	御意見の概要	県の考え方
24	その他	工場の空きスペースに植物工場をつくる義務化をお願いします。	御意見としてお伺いしました。
25	その他	愛知環状鉄道新豊田駅西側を再開発してほしい。観光中華街など。	「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027(愛知県人口問題対策プラン)」では、「地域の魅力の創造・発信」として、着地型観光を検討する旅行業・製造業・農林水産業等の事業者による観光プログラムの造成支援等により、多様化する旅行者のニーズに対応し、新たな需要の創出を図ることを、記載させていただいております。 いただいた御意見については、豊田市と情報共有させていただきます。